

【平成21年度】京都検定現地講習会



4月・5月開催

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
	大原の古寺と文化財 - 京都の古寺を巡る -	4月25日(土)	【勝林院】本堂(市指定文化財) 阿弥陀如来坐像、梵鐘 (重文)など 【三千院】往生極楽院本堂(国宝)、 阿弥陀三尊像(国宝)など 【来迎院】本堂(重文)、薬師如来坐像 阿弥陀如来坐像、釈迦如来 坐像(いずれも重文)など	岡村 喜史 氏 龍谷大学准教授
	乙訓を歩く - 京都を歩く -	5月17日(日)	【乙訓寺】 毘沙門天立像(重文) 十一面観音立像、本堂、 鐘楼、表門(いずれも 長岡京市指定文化財) 長岡宮跡(国史跡) 向日神社本殿 (重文)、元稻荷古墳など	松波 宏隆 氏 龍谷大学非常勤講師

* 拝観先は変更になる可能性があります

☆見どころ☆

【大原の古寺と文化財】

勝林院本堂(京都市指定文化財):7×6間の入母屋造り柿葺。享保21年(1736)に焼失し、安永7年(1778)に再建される。本尊の阿弥陀如来坐像は、文治2年(1186)に顕真と法然の間で行われた念仏談義「大原問答」に際して、問答の結果を証明した「証拠の阿弥陀」として知られる。

三千院往生極楽院本堂(国宝):外廻りは元和2年(1616)の修理などで改変しているが、内部は創建当初(平安末)の様相をよく残す。丈六本尊に合せて舟底天井とするのが特徴で、現存最古の例。仏菩薩像・天人・楽器・雲などが描かれ、本尊後方の来迎壁には両界曼荼羅が描かれている。

三千院往生極楽院阿弥陀三尊像(国宝):勢至菩薩の像内銘に久安4年(1148)とある。中尊の台座・光背、脇侍の頭光も当初のもの。脇侍が跪座し来迎の様子をよく示している。

来迎院本堂仏像群(重要文化財):本堂(重要文化財)は、江戸時代の創建で、3間四面の入母屋造妻入り。安置される本尊薬師如来坐像、脇侍阿弥陀如来坐像、釈迦如来坐像はいずれも重要文化財に指定されており、いずれも平安時代の作で小ぶりながらも秀作である。

【乙訓を歩く】

長岡宮跡(国史跡):延暦11年(784)平城京から遷都した長岡京の中心。近年の発掘成果を紹介。

向日神社本殿(重要文化財):平安時代の史書に見られる「向社」に比定されるなど、地域の中心的役割を担ってきた。重要文化財の本殿は応永29年(1422)銘の棟札をもつ。通常非公開

乙訓寺毘沙門天立像(重要文化財):乙訓寺は飛鳥時代の創建と考えられ、長岡遷都時には京内での存在が確認される寺院。早良親王が幽閉された所であり、空海も一時別当をつとめた。毘沙門天立像(重要文化財)は平安後期の造立。通常非公開

【時間】 13:00～17:00

【定員】 各コース 50名

【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)

【平成21年度】京都検定現地講習会



主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

6月・7月開催

印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
	建仁寺の歴史と文化財	6月20日(土)	【建仁寺】方丈、法堂、勅使門 (いずれも重文) 【両足院】本堂、阿弥陀如来立像、 池泉廻遊式庭園(府名勝) __両足院は通常期間公開	小嶋 一郎 氏 財団法人京都古文化保存協会
	東福寺の古建築 -文化財の見方・楽しみ方【建築編】-	7月25日(土)	三門(国宝)、 龍吟庵方丈(国宝) 禅堂(重文)、 東司(重文)、 月下 門(重文)、 愛染堂(重文)など	京都府文化財保護課 建造物担当講師

* 日程・拝観先は変更になる可能性があります

☆見どころ☆

【建仁寺の歴史と文化財】

方丈(重要文化財):慶長4年(1599)、安国寺恵瓊により再建。安芸国安国寺の方丈を移築したものとされる。四周に広縁をめくらせた六間取り方丈型式の建物で、室中を44畳大の大室とするなど、全てが大規模。旧五山寺院という寺格に見合う規模を備える。

勅使門(重要文化財):境内の南端、八坂通に面する四脚門。扉に矢の刺さったような痕があり「矢の根門」の名をもつ。架構は簡潔で、鎌倉時代の雄渾さをよく示す。

両足院:龍山徳見を開山とする建仁寺の塔頭。「五山文学」の最高峰の寺院として知られ、「建仁寺の学問面」の中核を担った。本堂には鎌倉時代の本尊「阿弥陀如来立像」を安置。庭園は白砂と苔に青松が美しい唐門前庭、枯山水の方丈前庭、府の名勝に指定される池泉廻遊式庭園からなる。梅雨の頃には半夏生(はんげしょう)が生い茂り、白い可憐な花が池辺を美しく彩る。__通常期間公開

【東福寺の古建築】

三門(国宝):南北朝から室町初期にかけて再建された東福寺には、応仁の乱の兵火を免れた貴重な建造物が数多く残る。三門は禅宗寺院現存最古のもので、大仏様の手法をも駆使し、勇壮な姿は見るものを圧倒する。2階は宝冠釈迦如来像、羅漢像ほかを安置する仏堂で、天女や龍・花紋などが極彩色で描かれ、荘嚴な雰囲気になっている。__通常期間公開

龍吟庵方丈(国宝):龍吟庵は東福寺の塔頭で、本坊方丈の東北、偃月橋を渡ったところにある。東福寺三世無関普門の塔所として創建。方丈は嘉慶元年(1387)頃の建立とされ、禅宗寺院方丈(客殿)の最古の遺構として貴重。入母屋造、柿葺の軽快な屋根に覆われ、優美なたたずまいを見せる。

__通常期間公開

禅堂(重要文化財):三門と同じ頃に再建されたと見られ、中世禅堂唯一の遺構。禅堂は衆僧が座禅を組み、生活する場として建てられた。桁行7間、梁間4間の身舎に一重の裳階が回る。__通常非公開

【時間】 13:00 ~ 17:00

【定員】 各コース 50名

【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
	嵯峨野を歩く - 京都を歩く -	10月25日(日)	【大覚寺】 宸殿、客殿、正寝殿、 五大明王像など (いずれも重文) 【大覚寺周辺】 大沢池、名古屋滝、石仏群、 嵯峨野古墳群、広沢池など 【遍照寺】 十一面観音立像、 不動明王坐像など (いずれも重文)	松波 宏隆 氏 龍谷大学非常勤講師
	日野の古仏たち - 文化財の見方・楽しみ方【仏像編】 -	11月21日(土)	【法界寺】 阿弥陀堂、阿弥陀如来坐像 (いずれも国宝) など 【恵福寺】 阿弥陀如来立像、 地藏菩薩坐像など 【その他】 日野誕生院、萱尾神社など	井上 一稔 氏 同志社大学 教授

* 日程・拝観先は変更になる可能性があります

☆見どころ☆

【嵯峨野を歩く】

大覚寺宸殿(重要文化財): 明正天皇の仮皇居を下賜されたと推定される。それ以前は母東福門院(徳川秀忠の女和子)入内当時の宸殿であった。襖の引手に三ツ葵文が残る。障壁画は京狩野の祖狩野山楽のものと推定されている。

大沢池石仏群: 鎌倉前期の造立と推定されている。薬師・釈迦・胎蔵界大日・阿弥陀(2体)の如来像と、蓮華を持つ菩薩像(弥勒か)、地藏菩薩立像とがある。

遍照寺十一面観音立像(重要文化財): 広沢池観音島に建立された観音堂の本尊と伝わる。一木造で平安前期の特徴を持つ一方で、穏やかな面相やゆるやかな動きをすることから、平安後期への過渡期的様相を示す。定朝の父康尚の作風が指摘されている。 通常非公開

【日野の古仏たち】

法界寺阿弥陀如来坐像(国宝): 定朝様の丈六像。宇治の平等院鳳凰堂阿弥陀如来像と比べると細身な印象を受ける。見開きが少なく長く伸びない目や、小ぶりの唇など、女性的でデリケートな顔つきが特徴で、総体的に定朝仏よりも繊細さが深まったことを示す。11世紀末の作と推定される。

法界寺阿弥陀堂(国宝)および壁画(重要文化財): 南面して建つ宝形造、一重裳階付きの仏堂で、一間四面阿弥陀堂の中でも最大規模を誇る。檜皮葺きの屋根、深い陰影をもつ軒など、温和で落ち着いた外観が特徴。内部の四天王長押上部の小壁には、飛天・如来など建立当時の壁画が残されており極めて貴重である。

恵福寺仏像群: 恵福寺は鎌倉後期に天台宗として開かれた古刹。境内のしだれ桜は、花見の頃、夜間にライトアップされ、近在の人々の目を楽しませている。恵福寺には平安から鎌倉の古仏が残されており、阿弥陀如来立像と地藏菩薩坐像は優れた出来栄を示す。 通常非公開

【時間】 13:00 ~ 17:00

【定員】 各コース 50名

【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)

11月・12月開催

印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
	法性寺・同聚院・宝樹寺の文化財	11月27日(金)	<p>【法性寺】千手観音立像(国宝)</p> <p>【同聚院】不動明王坐像(重文)、モルガンお雪の墓など</p> <p>【宝樹寺】阿弥陀如来立像、伝葛飾北斎筆「常盤御前雪の除松」など</p> <p><u>法性寺、宝樹寺は通常非公開</u></p>	<p>小嶋 一郎 氏</p> <p>京都産業大学 日本文化研究所 上席特別客員研究員</p>
	金戒光明寺・尊勝院・大蓮寺の文化財	12月1日(火)	<p>【金戒光明寺】大殿、阿弥陀堂内部など</p> <p>【尊勝院】本堂(京都市指定文化財)元三大師像、米地藏尊など</p> <p>【大蓮寺】薬師如来立像(重文)、阿弥陀如来立像、十一面観音立像など</p> <p><u>尊勝院、大蓮寺は通常非公開</u></p>	

* 日程・拝観先は変更になる可能性があります

☆見どころ☆

【法性寺・同聚院・宝樹寺の文化財】

法性寺千手観音立像(国宝):法性寺は延長3年(924)、藤原忠平が創建した寺院で、千手観音立像は灌頂堂の本尊と伝わる。十一面ではなく二十七面の千手観音像で、くっきりとした輪郭の鼻や唇、リズムカルな衣文など9世紀から10世紀前期の特色を示す。通常非公開

同聚院不動明王坐像(重要文化財):11世紀初め、藤原道長によって法性寺に造営された五大堂の中尊。丈六の巨大な不動明王であるが、温和な作風で知られ、和様彫刻を大成した定朝の父尚康の作とされている。

宝樹寺阿弥陀如来立像:鎌倉時代の作とされる本尊の阿弥陀如来像は当時流行った立像で、来迎スタイルの典型。また当寺は常盤御前の伝説が残る。逃避行の際、雪が止むまで松の下に留まったといわれ、その伝説に因んだ寺宝「常盤御前雪の除松図(伝葛飾北斎筆)」が伝わる。通常非公開

【金戒光明寺・尊勝院・大蓮寺の文化財】

金戒光明寺大殿・阿弥陀堂の仏像:法然上人像を祀る「御影堂(大殿)」には右奥に「千手観音立像(吉備観音:重要文化財)」、左奥に「文殊菩薩騎獅像(渡海文殊:京都市指定文化財)」が安置されている。また、阿弥陀堂は黒谷境内では最も古い建造物で、現在の堂は豊臣秀頼の寄進によるもの。本尊阿弥陀如来像は恵心僧都(源信)最後の作と伝わり、「ノミおさめの弥陀」と呼ばれている。

「阿弥陀堂内部は通常非公開(外からの参拝可)」

尊勝院元三大師像:尊勝院の本尊。慈恵大師御自作御等身の木像と伝えられ、比叡山般若谷の総本尊であったが、その靈験により、鳥羽法皇より「尊勝」の号を賜ったとされる。尊勝院にはこのほか不動明王、毘沙門天、如意輪観音、走り大黒天など、多くの優れた仏像が残されている。通常非公開

大蓮寺薬師如来立像(重要文化財):祇園社(八坂神社)の本地仏。境内にあった観慶寺薬師堂に安置されていたが、明治の廃仏毀釈・神仏分離で観慶寺が廃絶した後、大蓮寺に移された。定朝様の温和な作風の像で、平安後期の特徴を示す。通常非公開

【時間】 13:00 ~ 17:00
 【定員】 各コース 50名
 【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)

【平成21年度】



主催 / 京都商工会議所

早春特別編 (3月開催)

印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
	木津川市・泉大橋を歩く -京都を歩く-	3月7日(日)	【泉橋寺】 地藏菩薩立像、五輪塔(重文) 石造地藏菩薩坐像など 【大智寺】 伽藍(府登録文化財)、文殊菩薩坐像(重文)、十一面観音立像(重文)など 【安福寺】 阿弥陀如来坐像、十三重石塔など 高麗寺跡(国史跡)、上狛環濠集落など	松波 宏隆 氏 龍谷大学非常勤講師
	戒光寺・泉涌寺・悲田院 の文化財 -お釈迦さんと涅槃会-	3月15日(月)	【戒光寺】 釈迦如来立像、浄業坐像(ともに重文)など 【泉涌寺】 仏殿(重文)、大涅槃図、観音菩薩坐像(楊貴妃観音像・重文) 【悲田院】 阿弥陀如来立像、宝冠阿弥陀如来坐像(快慶作)など <u>悲田院は通常非公開</u>	小嶋 一郎 氏 京都産業大学 日本文化研究所 上席特別客員研究員

* 日程・拝観先は変更になる可能性があります。

☆見どころ☆

【木津川市・泉大橋を歩く】

高麗寺跡(国史跡): 7世紀初頭に創建された国内最古の寺院跡の1つ。木津川を見下ろす台地上に南面して立地し、東に塔、西に金堂を置く法起寺式の伽藍配置で知られる。

泉橋寺: 行基が木津川架橋の際、供養のために建立した泉橋院に始まるとされる。本堂の地藏菩薩立像は、鎌倉初期の造立とされる。このほか、地藏堂跡に露仏として鎮座する像高約6mの石造地藏菩薩坐像や、鎌倉の造立と推定される五輪塔(重文)がある。 地藏菩薩立像は通常非公開

大智寺: 木津川を挟んで泉橋寺の対岸に位置する。伽藍(府登録文化財)は寛文期(江戸中期)のもので、南山城地方では貴重。本堂の文殊菩薩坐像(重文)は、行基架橋の橋柱を使って造立されたとされる。また十一面観音立像(重文)は、一木造で10世紀の特徴を見せる。 仏像は通常予約拝観

安福寺: 木津川のそばで斬首されたという平重衡ゆかりの遺跡や遺物で知られる。阿弥陀如来坐像は重衡の引導仏とされ、平安後期から鎌倉期の特徴を示す。境内の十三重石塔は「平重衡塔」と呼ばれ、鎌倉時代の建立と推定されている。 阿弥陀如来坐像は通常非公開

【戒光寺・泉涌寺・悲田院の文化財】

戒光寺: 安貞2年(1228)に宋から帰朝した曇照律師が創建。以降寺は京洛を転々として現在地に移り泉涌寺の塔頭となった。巨大な丈六の釈迦如来立像と浄業坐像は重要文化財に指定されている。

泉涌寺: 鎌倉時代に俊甌律師が創建。律を基本に天台・真言・律・浄土の四宗兼学の道場として崇敬を受け、天皇家の菩提所として御寺と呼ばれた。仏殿(重文)には釈迦・阿弥陀・弥勒の三尊を安置し、3月14日から16日に行われる涅槃会では、長さ約15mで涅槃図としては日本最大の涅槃図が掛けられる。天井の竜と須弥壇背後の白衣観音像は狩野探幽の筆とされる。 大涅槃図は期間公開

悲田院: 聖徳太子の開いた悲田院(福祉施設)を起源とし、後花園天皇により勅願寺となる。江戸時代には高槻城主永井直清が復興し、現在は「泉山七福神」の6番(毘沙門天)としても信仰を集めている。本尊の阿弥陀如来立像は右手を与願印とする逆手の阿弥陀。また客仏として安置されている宝冠阿弥陀如来坐像は宋様式の影響が見られるものの、昨年快慶作と判明した。 通常非公開

【時間】 13:00 ~ 17:00
【定員】 各コース 50名
【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)

【平成21年度 京都検定現地講習会】

叡山電鉄で学ぶ京都検定



～ 叡山電鉄こもれび列車「京都検定号」で、秋の風情漂う洛北の名所に出発！～

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会 協力 / 叡山電鉄株式会社

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
A	修学院・一乗寺コース	10月8日(木)	【関西セミナーハウス】 能舞台「豊饗殿」 茶室「清心庵」など 【曼殊院】大書院、小書院(いずれも重文) 枯山水庭園(名勝)、竹虎図(重文) 古今和歌集(国宝)、源氏物語(重文)など	小嶋 一郎 氏 京都産業大学 日本文化研究所 首席特別客員研究員
B	幡枝・市原コース	10月29日(木)	【妙満寺】安珍・清姫の鐘、雪の庭など 【川島織物文化館】上代切、装束、衣裳など 飛鳥時代から現代にかけての美術品コレクション (通常非公開・完全予約制) 【補陀洛寺】阿弥陀三尊像、小町老衰像など	

印は通常非公開もしくは期間公開です
* 日程・拝観先は変更になる可能性があります

☆見どころ☆

【修学院・一乗寺コース】

関西セミナーハウス:昭和42年(1967)、日本キリスト教アカデミーの関西拠点として開設。現在、「歴史的風土特別保存地区」に指定される素晴らしい環境のなか、研修や学会など幅広く使用されている。能舞台「豊饗殿」は、明治31年(1898)豊国神社に作られた能舞台を移築したもの。茶室「清心庵」は、昭和53年(1978)、裏千家の千玄室家元の全面的な協力によって再興された茶室。それぞれ四季折々の風景と調和した美しい佇まいで知られる。 研修、学会の開催以外では通常非公開

曼殊院:天台宗五箇室門跡の1つ。大書院(重要文化財)は、月型、円崩しの欄間や瓢箪、扇、経巻などの引手金具の洗練された意匠が特徴。桂離宮との共通点が見出される。小書院(重要文化財)の主室「黄昏の間」には「曼殊院棚」と呼ばれる違棚があり、寄木造の独創的な構成で知られる。また庭園(名勝)は遠州好みの枯山水。その他にも平安時代の『古今和歌集』(曼殊院本)(国宝)や『源氏物語』(重要文化財)、伝狩野永徳筆「竹虎図」(重要文化財)など、多数の名宝を所有している。

『古今和歌集』(曼殊院本)(国宝)や『源氏物語』(重文)は、曝涼(虫干し)で拝観可能

【幡枝・市原コース】

妙満寺:顕本法華宗の総本山。日什上人により六条坊門室町に創建。昭和43年(1968)に現在地に移転した。境内の展示室には、有名な安珍・清姫の鐘(道成寺の鐘)がある。秀吉の根来攻めの際、紀州道成寺から掘り出したといわれ、「正平十四(1359)年」の刻銘がある。本坊の庭は「雪の庭」と呼ばれ、清水寺成就院の月の庭、北野成就院(廃寺)の花の庭とともに「雪月花三名庭」の1つ。

川島織物文化館:株式会社川島織物セルコン(天保14年(1843)創業)の資料館。「上代切」や「装束」など、織物文化の歴史を知ることができる貴重な染織品や、美術工芸織物、日本で最初に室内装束織物を手がけた資料など、約8万点のコレクションを所蔵。平成20年(2008)には天皇皇后両陛下が来訪し話題となった。 通常非公開・完全予約制

補陀洛寺(小町寺):天徳3年(959)創建と伝える古刹。小野小町終焉の地とされる。本堂には平安時代の作と伝わる阿弥陀三尊像と小町老衰像を安置。境内にも小町ゆかりの遺跡がある。

【時間】 13:00～17:00

【定員】 各コース 50名

【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジユメを含む)

「匠のこころ」～七宝と塗りの技～

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

第 3 回のコンセプト

明治時代には西洋の文物が珍重され、その影響で伝統ある日本の工芸・文化は衰退の一途をたどっていました。一方西洋では日本趣味(ジャポニズム)が19世紀末に大流行し、多くの欧米人が日本の工芸品を買い付けにきました。そのなかで特に粟田口の北に位置する岡崎では、有線七宝「クロワゾネ」と漆器「ジャパン」が人気の双璧でした。今回は、岡崎を歩きながら実際に七宝と漆工芸品の技を学び、すばらしい作品のところに触れてみたいと思います。

「錦雲軒稲葉」 稲葉洋幸氏による京七宝の特別講座

「錦雲軒稲葉」は、明治 22 年(1889)創業。京七宝の製造販売を行い、同 33 年(1900)にはパリ万国博覧会に出展し、銀盃を受賞。翌年にはベルギー皇室御用達に任命されるなど、国内外で早くから高い評価を受けました。今回は特別に稲葉洋幸氏をお招きし、七宝の語源、歴史、製作工程、また伊勢神宮式年遷宮時の宝珠制作など、映像を用いて「匠のこころ」をお話しいたします。

【有線七宝(クロワゾネ)とは】

「有線七宝」という高度な七宝の技術は、現在ほとんど知られていません。それは金属のボディに文様の輪郭線として金や銀の線をテープ状にして貼り付け(植線)、その線と線との間に釉薬をさして焼成・研磨を繰り返す技法です。厚みのある多様な色彩と、深く透き通った艶が特徴で、筆のタッチのような繊細な稜線づかいを極め、艶やかな花鳥や叙情的な風景を描きました。

京七宝の歴史と逸品

並河靖之七宝記念館の拝観と学芸員による解説

明治・大正時代に活躍した七宝家・並河靖之(1845～1927)は、3度のパリ万国博覧会に出展、国内外で多くの受賞を重ね、明治 29 年(1896)には帝室技芸員に任命されるなど輝かしい経歴を持つ京七宝の第一人者です。今も残るその作品や、下絵、制作資料からは京都で育まれてきた匠の技の集大成を感じることができます。

【旧邸(国登録有形文化財・京都市指定歴史的意匠建造物)】

明治 27 年(1894)竣工。京町家特有の表屋に御殿造の主家が続く珍しい構造で知られ、青蓮院や修学院離宮など、随所に名刹の写しがあり靖之の趣味が窺えます。室内は外国からの訪問客が多かったことから、約六尺(約 1.8m)の当時としては高い鴨居を設け、輸入品のガラス障子を用いて、明るく開放的な空間を作っています。

【庭園(京都市指定名勝)】

七代目小川治兵衛(屋号:植治)の作庭。七宝研磨のために引かれたという水は、植治が民家に琵琶湖疏水を用いた初めての例。池から急激に浅瀬へ向かい、橐形の手水鉢で二手に分かれる流水は躍動感に富む斬新な構成で知られています。

京漆器の歴史と逸品

「京漆匠象彦」による京漆器の解説

「象彦」は、寛文元年(1661)創業。漆器は「ジャパン」と呼ばれるように、日本を代表する伝統的工芸品の1つで、その歴史は古く平安時代に遡ります。今回は、京漆器の老舗象彦さんに、漆器の歴史や製作工程、日本最高峰の技術をもつ「匠のこころと技」などについてお話しいたします。また、大正天皇即位時の高御座のミニチュア展示を予定しています。



塩山蒔絵硯箱
(重要文化家財 室町時代写)

【京漆器の逸品を鑑賞&ショッピング】

2階のギャラリーでは京漆器をはじめとする京都の伝統工芸の逸品をゆっくりと鑑賞。

1階では伝統を踏まえながら現在のライフスタイルに合った新しい京漆器の数々を手にとって楽しむことができます(ご購入可能です！)。

- | | |
|------------|---------------------------------|
| 【日 時】 | 平成 21 年 7 月 10 日(金) 13:00～16:00 |
| 【集合場所】 | 京都市勧業館みやこめっせ(京都市左京区岡崎成勝寺町9番地1) |
| 【受講料】 | 3,500円(拝観料込・資料付) |
| 【定 員】 | 50名限定(申込多数の場合は抽選となります) |
| 【コーディネーター】 | 山岡 道子 氏(京大和近江文化研究所 代表) |

「おどり」をいろいろる技の世界～長唄・髪結い・伝統工芸品～

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

第 4 回のコンセプト

京都の五花街のうち「宮川町」は、四条通の南、鴨川の東にあります。毎年 4 月上旬に開催される「京おどり」は、今年 60 周年を迎えました。春花盛りの都をさらに華やかにする各花街の「おどり」は、芸の披露の場であり、また伝統工芸品やさまざまな技が凝縮されています。今回は宮川町の「おどり」をいろいろ、京都の文化と技の第一線でご活躍の先生方を講師にお迎えしてお話を伺うとともに、舞妓さんの「おどり」を実際に鑑賞し、総合的に京都の伝統文化や伝統工芸を楽しむ学んでいきたいと思ひます。

「おどり」をいろいろる作曲の世界

毎年「京おどり」は、いくつも新作の演目がつくられています。その作曲をご担当されているお家元から、歌舞伎と共に発達した長唄や芸についての興味深いお話を伺います。



【講 師】 今藤 長十郎氏（長唄今藤流四世 家元）
【略 歴】 昭和 26 年（1951）4 歳で初舞台。日本大学芸術学部音楽学科作曲専攻卒業。昭和 59 年（1984）四世今藤長十郎襲名。家元継承。同年から毎年京都宮川町「京おどり」を作曲。今藤長十郎「三味線の響き」主宰。「繭の会」同人。現在、社団法人長唄協会常任理事、大阪芸術大学客員教授、国立劇場養成課講師、NHK 文化センター（東京、大阪、京都）講師、東山女子学園教授など要職多数。

「おどり」をいろいろる髪結いの世界

舞妓は、現在も地毛で日本髪を結っています。舞妓の髪型についてのお話と、特別に実際に「先笄（さっこう）」の髪結いをご覧ください。先笄は、江戸時代の後期から明治にかけて結われていた京風の髪型で、現在は、舞妓から芸妓になる前のほんの一時期だけ結われています。

【講 師】 山中 恵美子氏（山中美容室）
【略 歴】 葵祭、時代祭、伊勢神宮祭主のお支度のご奉仕。現在、京都美容文化クラブ副会長、京都美容専門学校古典講師、京都府美容組合日本髪保存会講師など、要職を多数つとめている。

「おどり」をいろいろる花街のしきたりと伝統工芸品

芸舞妓が普段住まう「置屋」と宴会を行う「お茶屋」について、また普段知ることのできない花街のしきたりなどについてお話いただきます。また、元結、花かんざし、鬘甲、おしろい、着物帯、帯締め、襟、ぼっちり、おこぼ（履物）、傘、足袋、扇など、花街ではたくさんの伝統工芸品が用いられています。芸舞妓を支える伝統工芸品の数々をご紹介します。

【講 師】 駒井 文恵氏（宮川町駒屋女将）
【略 歴】 置屋としては古くからの歴史があり、お茶屋としては 3 代前から続く駒屋の女将。現在、宮川町お茶屋組合副組合長などをつとめる。



「おどり」の鑑賞

最後に、舞妓さんによる「おどり」をご鑑賞いただきます。

【日 時】 平成 21 年 8 月 2 日（日）13:00～16:00
【場 所】 ギオンコーナー（京都伝統芸能館）（京都市東山区花見小路四条下ル 弥栄会館内）
【受講料】 3,800 円
【定 員】 200 名
【司 会】 山岡 道子 氏（京大和近江文化研究所 代表）

上賀茂の食文化・京野菜探訪

- 歴史の舞台を訪れ、食文化を体感する -

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

講座のコンセプト

「食は歴史とともにあり」 1200年の歴史に育まれた京の食文化を分かりやすく解説します！

食文化が育まれた場所に実際に赴き土地の方の話に耳を傾けることで、その歴史や地域の特性、京都人の“食”に対する想いが見えてきます。幅広い視点から京の食文化の本質に迫ります。

「食は体感することにより」 食べてみないと始まらない！ 京を堪能する美味しい講座です！

食は実際に体感してこそ本質が分かるもの。知識と体感の両面から、楽しくそして美味しく学ぶ現地講座です。気軽に旬の京料理や京野菜を食べてみたい方も大歓迎です！

第1回は上賀茂の“食文化”を探訪します！

「食は歴史とともにあり」といいますが、千年の都・京都には様々な食文化が息づいています。第1回は「上賀茂の歴史と食文化」を学び、京野菜を味わうとともにその産地を探訪します。

上賀茂は古来より祭祀氏族カモ氏が治める神聖な土地です。まずは世界文化遺産である賀茂別雷神社（上賀茂神社）の国宝を特別参拝しながら上賀茂の歴史を学びます。その後、上賀茂の風土で育まれた京野菜の食文化「すぐき漬」の老舗を訪問しその歴史を学び試食します（ショッピング含）。昼食は上賀茂の人気店・萬川にて京野菜をたっぷり使った昼食をお楽しみいただきます。昼食後は、上賀茂伝統野菜研究会のメンバーの方々の畑にて京野菜のお話を伺います。歴史を学んで、食文化を体感する「京都を学べる美味しい」現地講座です！

見学先とスケジュール(予定)

10:00 賀茂別雷神社(上賀茂神社)社務所前に集合

本殿および権殿(国宝)の特別参拝・ご神職様による解説

現存する本殿と権殿は文久3年(1863)の造営によるもの。三間×二間の身舎に一間の向拝を設け、切妻造平入の屋根の前面を葺き降ろす流造で知られる。

11:30 すぐき老舗「なり田」上賀茂本店にて、すぐき漬の歴史解説と試食&ショッピング

御すぐき處「なり田」:文化元年(1804)京漬物屋として創業。創業以来「塩加減」「重し加減」「室(むろ)加減」の3つを守り、熟練した職人の手作業で「すぐき漬」を作り続けている。その一方で「スローライフ・スローフード」のコンセプトのもと、自然素材にこだわったスイーツを展開するなど、新しい「食のゆとり」を提案している。

12:30 上賀茂 萬川にて、昼食(京野菜コースランチ)

上賀茂 萬川:風情の残る上賀茂の旧家を改装して平成2年(1990)年に創業。「旬の京野菜提供店」の認定を受け、えびいも、万願寺とうがらし、水菜など、旬の京野菜をふんだんに使った創作料理が人気を呼んでいる。

14:00 上賀茂特産野菜研究会 京野菜畑(賀茂なす) 見学 雨天の場合、萬川にて上賀茂特産野菜研究会のお話

上賀茂特産野菜研究会:賀茂なす、すぐきなど上賀茂で伝統的に栽培されてきた京野菜を栽培する若手農家を中心とする研究会。

15:00 解散

【日時】 平成21年6月26日(金) 10:00~15:00

【受講料】 6,500円(拝観料・ランチ代等含む)

【定員】 30名限定(申込多数の場合は抽選となります)

【コーディネーター】 丘 眞奈美氏(京都ジャーナリズム歴史文化研究所 代表)

【プロフィール】京都市生まれ。ノートルダム女子大卒。出版社、NHK京都キャスター、民放の制作ディレクターを経て放送作家に。現在京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表。京都市観光大使・おこしやす京都委員会幹事などの公職も多くつとめる。著書に『京都「魔界」巡礼』、『京都の「ご利益」徹底ガイド』(ともにPHP研究所)などがある。

平安京の食文化と京麩

- 歴史の舞台を訪れ、食文化を体感する -

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

講座のコンセプト

- 「食は歴史とともにあり」 1200年の歴史に育まれた京の食文化を分かりやすく解説します！
食文化が育まれた場所に実際に赴き土地の方の話に耳を傾けることで、その歴史や地域の特性、京都人の“食”に対する想いが見えてきます。幅広い視点から京の食文化の本質に迫ります。
- 「食は体感することにより」 食べてみないと始まらない！京を堪能する美味しい講座です！
食は実際に体感してこそ本質が分かるもの。知識と体感の両面から、楽しくそして美味しく学ぶ現地講座です。気軽に旬の京料理や伝統食品を食べてみたい方も大歓迎です！

第2回は平安京の食文化と伝統加工食品・京麩を探訪します！

「食は歴史とともにあり」といいますが、千年の都・京都には様々な食文化が息づいています。第2回は平安時代の食文化と京の伝統的加工食品の京麩を探訪します。

前半は『源氏物語』の主人公・光源氏のモデルの一人とされる源融ゆかりの河原院跡（河原院石碑、涉成園、塩竈町）を散策します。その後、平安京の東市の守護神として祭祀された市比賣神社で宮中「お食べ初め」通過儀礼・五十日百日之祝儀や市の守護神としての様々な伝承のお話を伺います。

後半は創業300年余の京麩の老舗半兵衛麩にて「京麩」の歴史や製造法を学びます。半兵衛麩玉置家のルーツは、宮中の大膳亮の大膳師で、京麩の製造法に加えて平安京の食文化を伝える貴重な資料が数多く伝えられています。名物で人気の「虫養い膳」ミニコースをご賞味いただいた後は、第11代目ご当主玉置半兵衛様より「平安京の食文化と京麩」についてご講演いただくとともに、半兵衛麩博物館にて当講座のための特別展示を見学します。さまざまな京麩製品が並ぶ店内でゆったりとショッピングも楽しめます。

今回は平安時代にタイムスリップし、優雅な食文化と都人に愛された京麩を堪能していただく講座です！

見学先とスケジュール(予定)

10:00 京阪電鉄五条駅改札集合

源融河原院址（下京区木屋町通五条下ル東側）

嵯峨天皇の皇子源融の邸宅跡。北は現在の五条通、西は柳馬場通、東は鴨川を範囲とする広大な敷地をもち、苑池を備えた景勝地として知られた。

涉成園（下京区下珠数屋町通間之町東入ル東玉水町）

東本願寺の別邸。枳殻邸の名で知られる。寛永18年（1641）徳川家光によって現在の地が寄進され、承応2年（1653）石川丈山が作庭したことにはじまる。国の名勝。

11:45 市比賣神社にて宮司様のご講話と正式参拝

市比賣神社（下京区河原町通五条下ル一筋目西入ル）

平安京の東市の守護神として勧請されたと伝えられる古社。女人守護・市場守護の神として現在も多くの人々の信仰を集めている。

13:00 半兵衛麩にて「虫養い膳」ミニコースのご賞味と、第11代ご当主玉置半兵衛様のご講演 & ショッピング

半兵衛麩（東山区問屋町通五条下ル上人町433）

元禄2年（1689）創業。創業以来、材料にこだわり、時代の変化とともに麩を発展させながら伝統の味わいを守り続けている。近年では留学生や学生、社会人を対象とした講座を開催するなど、京都や日本の食文化の研究にも精力的に取り組んでいる。

15:00 解散

- 【日時】 平成21年9月11日（金）および17日（木）10:00～15:00
【受講料】 6,500円（拝観料・ランチ代等含む）
【定員】 20名限定（申込多数の場合は抽選となります）
【コーディネーター】 丘 眞奈美氏（京都ジャーナリズム歴史文化研究所 代表）

【プロフィール】 京都市生まれ。ノートルダム女子大卒。出版社、NHK京都キャスター、民放の制作ディレクターを経て放送作家に。現在京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表。京都市観光大使・おこしやす京都委員会幹事などの公職も多かつとめる。著書に『京都「魔界」巡礼』、『京都の「ご利益」徹底ガイド』（ともにPHP研究所）などがある。